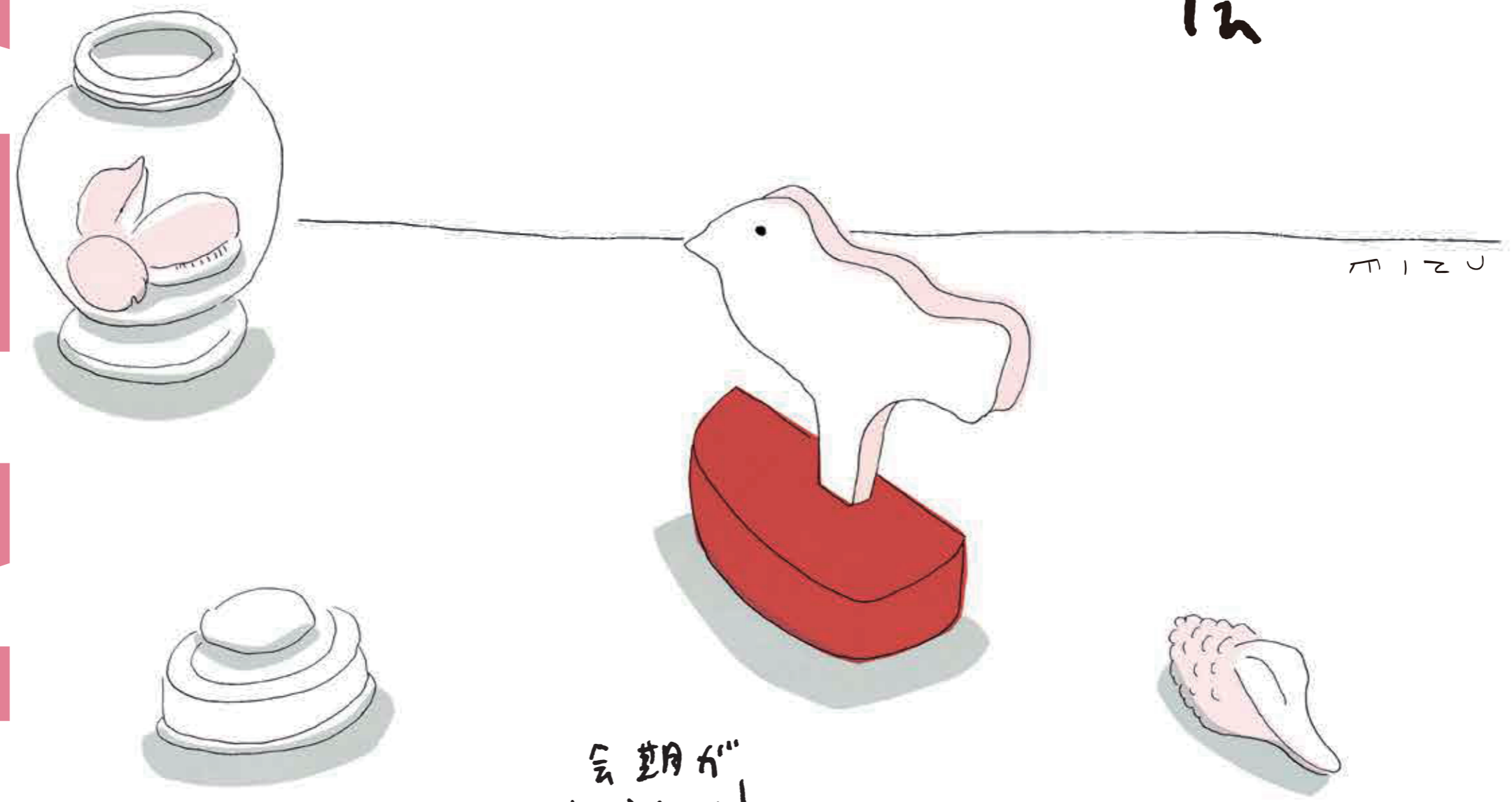


Illustrator
of
MIZUMARU
work
the
AN

イラストレーター

安西水丸

展



会期が
のびました!
2021 4/24[±] - 9/20^{月祝}まで

157-0062 東京都世田谷区南烏山 1-10-10
Tel.03-5374-9111
www.setabun.or.jp

世田谷文学館

会場撮影OK! #みずまるせたぶん

開館時間: 10:00-18:00(観覧会入場、ミュージアムショップは17:30まで)
休館日: 毎週月曜日(ただし5/3、8/9は開館、5/6、8/10は休館)
観覧料: 一般900(720)円/65歳以上・高校・大学生600(480)円/小・中学生300(240)円、
障害者手帳をお持ちの方400(320)円 ※()内は20名以上の団体料金
主催: 公益財団法人せたがや文化財団 世田谷文学館 監修: 安西水丸事務所
協力: 嵐山オフィス/村上事務所/和田誠事務所/東京イラストレーターズ・ソサエティ
SPACE YUI/クリエイションギャラリー G8(リクルートホールディングス)
企画協力: クレヴィス 会場設計: DO.DO. 後援: 世田谷区/世田谷区教育委員会
※4/24[±]は開館記念観覧料無料 ※4/30^{月祝}は65歳以上無料

MIZUMARU
exhibition

Illustrated by Mizumaru Mizumaru ©Masami Kishida

ここだけの水グッズもたくさん揃ってます

作品集 『イラストレーター 安西水丸』 会場限定装丁版



漫画『青の時代』 展示に合わせ 名著復刊!

※4章の作品は 展示替えを行います: 6/29(日)以降予定

安西水丸が描いた原画や本展のために複製制作された作品などを展示。

安西水丸 あんざい みずまる (1942-2014)

東京生まれ。イラストレーター。日本大学芸術学部美術学科造形コース卒業。電通、ADAC(ニューヨークのデザインスタジオ)、平凡社でアートディレクターを務めた後、フリーのイラストレーターに。広告、雑誌の表紙や挿絵、書籍の装画ほかで活躍のかたわら、小説、エッセイ、漫画、絵本などの自著も多く手掛け、今なお高い人気を博している。朝日広告賞、毎日広告賞、1987年日本グラフィック展年間作家優秀賞、1988年キネマ旬報読者賞など受賞多数。



旅先のヴェネツィアにて 2010年

安西水丸は、1970年代より小説、漫画、絵本、エッセイや広告など、多方面で活躍したイラストレーターです。はじめ広告代理店や出版社に勤め、デザイン等の仕事をしながら、嵐山光三郎の勧めで「ガロ」に漫画を掲載、南房総で過ごした日々などを題材とした『青の時代』が高い評価を受けます。独立後は、村上春樹をはじめとする本の装幀や、『がたん ごん がたん ごん』などの絵本、和田誠との展覧会、広告や執筆活動など、幅広く活躍しました。「その人にしか描けない絵」を追求し、身近なものを独自の感性で表現した作品は、私たちをユーモアと哀愁あふれる世界へと誘います。本展では、「小さい頃よりずっと絵を描くことが好きだった」という安西の幼少期から晩年に至るまでの足跡を、原画と関連資料あわせて500点以上によりご紹介いたします。加えて、「旅」をテーマにした特別コーナー「たびたびの旅」では、旅にまつわる原画、原稿、郷土玩具、民芸品など初出品資料を含む約130点を展示。生涯で国内外のさまざまな場所を訪れた「旅する人」・安西水丸にも迫ります。

- 雑誌「イラストレーション」玄光社 2011
- 『がたん ごん がたん ごん』 展覧会出品作 制作年不詳
- 漫画「青の時代」原画 青林堂 1980
- 小説「アマリス」新潮社 1989
- 『日本の文学』近代編 装丁 ほるぷ出版 1985
- 「JALプランナー」ポスター 日本航空 1988
- 傘 チャリティー展出品作 2001
- 「パール・ピアス」歌詞カード 松任谷由実 1982
- 靴 チャリティー展出品作 2010
- 村上春樹「中国行きのスロウ・ボート」装丁 中央公論社 1983
- 雑誌「ビックリハウス」バルコ出版 1984
- 嵐山光三郎との共著絵本「ビッキーとポッキー」福音館書店 1993
- 嵐山光三郎「口笛の歌が聴こえる」装画 新潮社 1985
- 『恵比寿大黒』2004 和田誠との二人展より
- 和田誠との共著たち
- 安西が蒐集したモチーフたち
- 幼少期に描いたターゼン
- 大学の卒業制作「オーシャンと11人の仲間たち」1965
- 「ニッポン・あっちこっち」より 1999
- 旅グッズいろいろ
- 『口笛のきこえる』1985
- タイトル不明 1994頃
- 「チューリップ」2000
- 『象工場のハッピーエンド』より 制作年不詳

1 ぼくの仕事

装丁・装画、絵本、漫画、雑誌、エッセイ、広告、立体物など多様な仕事を紹介します。



3,000人の募集

JALぷらぷら

2 ぼくと3人の作家



世田谷文学館

〒157-0062 東京都世田谷区南鳥山 1-10-10 (京王線「芦花公園」駅から徒歩5分) Tel.03-5374-9111 www.setabun.or.jp

関連企画 in 館内 「水丸さんのがたんごとん」〈どこでも文学館〉新作パネル特別展示

会期中、安西水丸の絵本をテーマにした出張展示パネルをお披露目します。入場無料 会場：世田谷文学館 1階文学サロン

※ほかにもイベントを予定。詳細はHPをご覧ください

3 ぼくの来た道

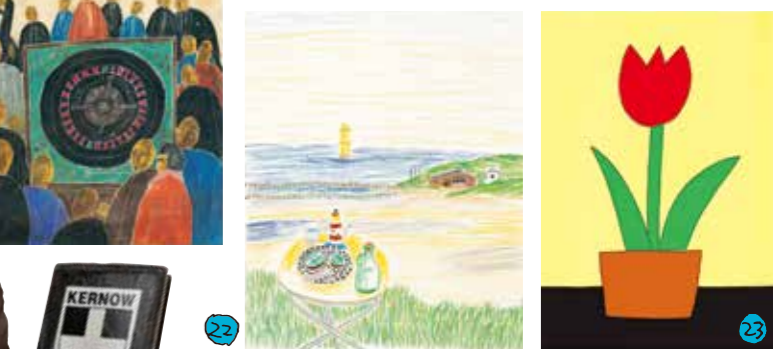


Special たいたいのび



「地球の細道」「a day in the life」を中心に、旅にまつわる作品やオブジェなどを紹介する特別展示。

4 ぼくのイラストレーション



同時開催 コレクション展 受贈記念 夷齋先生・石川淳 4/24(土)~9/26(日) 次回企画展 谷口ジロー展(仮称) 10/16(土)~2022年2/27(日) 予定